



熊野市二木島町の逢川にかかる逢川橋脇にある「津浪地蔵」の全景と、「津浪地蔵」について説明する看板。説明看板によると、1854年安政東海地震の際、津波がこの場所まで来たことが書かれている。

熊野市指定文化財

民俗文化財 有形民俗文化財

津浪地蔵

一 形態 自然石を立て地蔵を模す

二 位置 津波のきた地点

三 建立者 当時のいずみ屋こと倉谷家

嘉永七年十一月四日午前八時頃、熊

野難沿岸に大津波襲来、二木島では波

高一〇米メートルを越えたと伝えられ、民家は

全滅状態、造り酒屋のいずみ屋の主人

倉谷氏は、大勢の亡き人の供養を思い

立つたが、自家も流されて無一文、や

むなく付近から恰好の自然石をみつけ

てきて、地蔵を模して建立し、供養を

しました。

指定 平成四年二月二十八日

熊野市教育委員会

「津浪地蔵」について説明する熊野市指定文化財の看板。



山側からみた「津浪地蔵」とその説明看板の遠景。写真中央のガソリンスタンド横の墓地入口には、1944年の「東南海大地震津波到達地点」の碑がある。